

【様式1】

令和6年度 授業改善推進プラン

東久留米市立第五小学校 第2学年

教科	学力に関する各調査に基づく児童の学習状況分析 (数値等で具体的に示す)	具体的な授業改善策及び目標値 (数値等で具体的に示す)
国語	<ul style="list-style-type: none"> 1学期の授業より、学習した新出漢字を「書くこと」で用いることに課題がある。 ワークテストの記述欄の結果、自分の考えや思いを表現することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 新出漢字を学習する際に例文を紹介したり、平仮名で書いていたら直しをさせたりして、日常的に活用する意識がつくよう指導する。 小テスト及び学期に2回のまとめテストを実施する。満点でなかった場合、直しを確実にさせたり、再テストを行ったりする。(再テストで満点の児童が90%以上にする。) 児童が考えたい、表現したいと思える発問を設定し、表現方法を工夫する。 作文を継続して実施する。行事や日常の出来事などを作文帳に週に1回書くようにする。毎週書くことで書く経験を積み重ねていく。(学年末に児童全員が自分の考えを表現できるようにする。)
算数	<ul style="list-style-type: none"> ワークテストの結果、問題文の読み取りに課題がある。 ワークテストの結果、長さ、時間など量と測定の学習内容の定着状況に差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題文の大切な箇所に線を引かせたり、単位に印を付けさせたりすることで問題文の読み取り方や答え方を身に付けられるように指導する。ノート、プリント、単元テストで、理解を確かめる。(70%以上の正解者を90%以上にする。) ものさしや定規を用いて様々な物を測定したり、時計の模型やマスに入った液体を操作したりする活動を繰り返し取り入れることで理解を深める。また、実生活と結び付けて日常的に考えさせるようにする。ノート、プリント、単元テストで、理解を確かめる。(70%以上の正解者を90%以上にする。)
体育	<ul style="list-style-type: none"> 市の傾向と同様に50m走や長座体前屈では、全国平均と同等の記録を残しているが、ソフトボール投げと20mシャトルランは、全国平均や都の平均よりも低い記録となっている。 男子と比較して女子の記録がより全国や都の平均を下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ソフトボール投げは、特にボールゲームを楽しむ中でキャッチボールの機会を数多く設けたり、フォームロケットなどの用具を使って投げるフォームや体の使い方を確認したりできるようにすることで記録の向上を目指す。 20mシャトルランについては、体を移動する動きを取り入れた体ほぐしの運動遊びに親しんだり、持久走旬間や大なわ旬間に学校全体で取り組むことで持久力の向上に努めるようにする。 低学年の時期に男女一緒に様々な運動遊びに触れ、日常的に慣れ親しませることで全体的な体力の向上を目指す。
生活	<ul style="list-style-type: none"> 1学期に行った観察したものを絵や言葉で表現する学習からは、複数の表現の手法で用いることができる児童と、単一の方法で表現する児童が混在していることが分かった。 学校探検の調べ学習では、多くの児童が意欲をもって取り組み、グループ内で話し合っって考えを深めた。友達の考えと自己の考えを比較して新しい考えを生み出すことに課題があった。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察の際、植物や生き物の色・形・大きさ・数など、観察の観点を示すようにする。また、これらの他に、複数回観察し、どのような変化があるか等にも着目させる。こうした観点を児童が観察カードに記録できるようにする。(90%以上) 単元ごとにグループで話し合う活動を必ず1回以上取り入れる。その中で、友達の考えから自分の考えを深められるよう、声掛けをする。